

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

殺傷武器輸出解禁許すな	3面
大学で学ぶことは権利 学費無償化を考える	6、7面
加速する日米一体の「戦争国家」づくり	10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsins@dylj.or.jp

青年と転職



最近、ネットやSNS、電車内で転職を勧める広告をよく目にしませんか？ 転職について青年はどんな印象を持っているかを率直に聞くとともに、「広告が増えた背景」について考えます。また、青年の転職にも大きく影響する岸田文雄政権の「三位一体の労働市場改革」の問題点について全国労働組合総連合(全労連)の伊藤圭一さんに聞きました。(塩田悠玄記者)

◀ オフィスに向かう青年のイメージ(写真と本文は関係ありません)

「いい人生を送りませんか？」に落ち込む

渋谷の街頭で、転職に対して「いい人生を送りませんか、自分みえるイメージや、転職を考えたことあるかなどについて青年に聞いていきました。

取材に応えた大学生(4年)は「ずっと同じ職場にいる方が現実的ではないと思う。30年40年と定年まで同じ所で働くって『本当に

増加傾向の転職広告から「三位一体の労働市場改革」まで

「アメリカは転職が当たり前の世界だと聞いた。日本も同じようにスキルがちゃんと評価されて転職が当たり前の世界になってほしい」と言いつつ、「若いうちは転職しても、最終的にはどこかに腰を据えて働くのがいい」と話しまし

た。会社員の青年(24)は、答えました。「仕事内容が思っていたのと違ったこともあって、いま動いている会社から転職を考えている」と感じる。広告は、仕事で見る企業に相談する前に「やっぱり自分って駄目だし」と青年は話しました。

多くの青年が、転職を求めている企業は、転職エージェントに頼る傾向があります。転職エージェントは、求職者と企業をマッチングさせる役割を果たしています。しかし、転職エージェントの報酬が高くなるにつれて、企業側も転職エージェントに依存する傾向が強まっています。

岸田政権は、「三位一体の労働市場改革」で「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

優先されるのは何か

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

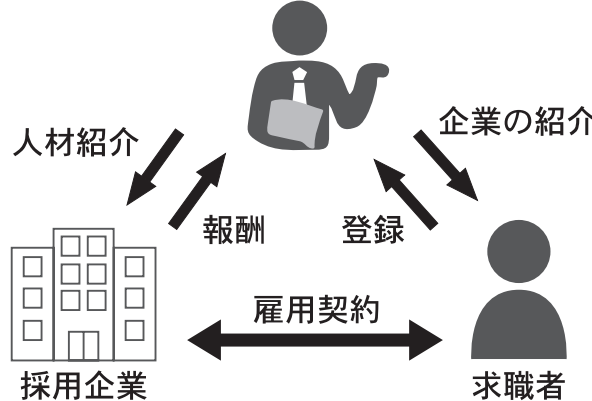
「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

「労働移動(＝転職)を容易にさせること」にあると全労連は指摘しています。岸田政権は「構造賃上げ」を実現させるとして、若者が辞めやすくなることを目指しています。しかし、三位一体の労働市場改革の本当の目標は、

転職エージェントのしくみ



マイナビキャリアアドバイザーが解説！転職エージェントの上手な使い方などを基に作成